学校だより 令和6年12月号 知名町立住吉小学校

説がじゅまる

へ せいいっぱい がんばる 住吉の子

メールアドレス sumiyoshisho2@po3.synapse.ne.jp 12月24日発行

考えるレッスンで合意形成の力を養う ~ 家庭で行う哲学対話 ~

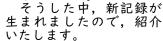
校長 牧口 廣久

小学生が使用する道徳の教科書(光村図書)で、哲学対話のた。「同一つ「自観取(ほんしつかんしゅ)」が取り上げられるようになりました。には合い」には何か」「よく生きるとはどういうことか」などこうした問いにきるとはでういうことがないでは、「本質的な考え」に近づいていくことはできませんが、があるに近づいていくことはできまず。それが、ツがでで割の一です。本質観取は、フッサールという哲学者にルーツ修可とす。今では、哲学対話の一つとして、学校の授業のの一はがあります。今では、哲学対話の一つとして、学校の授業の研修でのようようになっています。私たちが、「そもそも〇〇はがあり入れられるようになっています。私たちが、「そもそも〇〇はがあり入れられるようになっています。私たちが、「そもそものはです。本質観取は、それぞれの確信を持ち寄りながら、誰しもが納得できる「共通了解(きょうつうりょうかい)」を見出し合う営みです。

娘さんが不登校になったある家庭では、「友情」についての哲学対話 (本質観取)を行いました。すると、娘さんを苦しめていた友人関係を 親子で捉えなおすことができ、とても楽な気持ちになったそうです。親 子での哲学対話は、そうした問題をじっくり考える良い機会となり、子 どもたちは、自分なりの答えを導き出すことができるようになるのです。 家庭で実践する際の具体的な流れとしては、①テーマを見つける。語

哲学対話である本質観取には、様々な教育上の効果があります。子どもたちの思考力や言語力を育むとともに、物事を本質から捉える力や、民主主義の基本となる合意形成の力を養ってくれます。さらに、自己理解も深まっていきます。明日から冬休みに入ります。この機会を利用して、まずは、簡単なテーマで5分でもやってみてもよいかもしれません。よい年末年始をお過ごしください。

* 校内持久走大会・沖高生の読み聞かせ【がじゅまるクラブ通信】 *













そして、12月16日(月)は、朝の活動の「読書タイム」の時間に、「読み聞かせボランティア」が、6人の沖永良部高校によっておこなわれました。住吉小卒業生も来校し、懐かしい学び舎にて、後輩たちと読書を通してのふれあいができたことと思います。沖高生の皆さん、ありがとうございました。

* 住吉っ子のがんばり * ~ 文武両道をめざします ~

- ・数学検定合格【9月受検】 8級…5年 谷山瑛音 6級…6年 武元新太
- ・第16回かごしまジュニア検定合格 6年 外山陽大
- ・第24回知名町短歌コンクール 優秀賞 I年 泊 咲利 入 選 2年 小川澪音 3年 山田柑奈 5年 中野翔愛 6年 福井拓翔
- ・第8回南州旗争奪沖永良部少年サッカー大会 B·Cブロック 3位 みさき夕焼け
- ・第22回南三島学童防犯野球大会 優勝 知名ジュニアベースボールクラブ
- ・第41回鹿児島県下学童親善交流大会 第3位 知名与論合同チーム

* | 月の行事予定*











YEAR!

8日(水) 始業式 大掃除 学級活動 【給食あり】

11日(土) 土曜授業 集団下校

14日(火) 全校ボランティア活動

15日(水)·16日(木) 鹿児島学力·学習状況調査(5年)

17日(金) 英検ESG確認パッケージ(6年)

21日(火)避難訓練(火災想定) 放課後補充

28日(火) PTA運営委員会

30日(木) 新入児体験入学·保護者説明会

31日(金) 田皆中·知名中入学説明会(6年)

